

「倉重光則+天野純治展 ミニマリズムのゆくえ」

プレスリリース



左=倉重光則 《光と物の間》 2020年 Steps Gallery (東京)
右=天野純治 《field of water #013015》 2013年 個人蔵

1 開催趣旨

倉重光則（1946～ 三浦市在住）は、1960年代よりパフォーマンス、写真、映像など、幅広い表現活動を行っています。なかでも、蛍光管やネオン管の人工的な〈光〉による眩惑的な作品は、倉重の代名詞ともなっています。本展では、この〈光〉を用いたインスタレーション作品のほか、野外展示、新作の映像作品など約10点をご覧ください。

天野純治（1949～ 葉山町在住）は、常に真摯に平面と絵画表現の臨界に取り組んでいます。近年はアクリルや顔料の層を重ねる技法によって色彩を物質化したような「field of water」シリーズを多く制作しています。本展では、1990年代後半の鉛を用いた代表的な平面作品に、ドローイング、新作をあわせて約30点をご紹介します。

本展は、ミニマリズムから出発した二人の近作、新作を中心に構成し、作品世界の響きあいに出会う、またとない機会となります。

2 会期・休館日・観覧料

会期：2020年（令和2年）11月14日（土）～12月25日（金）

開館時間：10時～18時

休館日：12月7日（月）

観覧料：一般：1000（800）円、高大生、65歳以上：800（640）円

*（ ）内は20名以上の団体料金。

3 主催等

主催：横須賀美術館

4 関連事業

詳細は美術館HP（<https://www.yokosuka-moa.jp/event/index.html>）をご覧ください。

お問い合わせ 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居4-1

○ホームページ：<https://www.yokosuka-moa.jp> ○e-mail:kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関すること 広報係：相良、八島、江山 電話 046-845-1211

○展示内容に関すること 担当学芸員：工藤、栗林 電話 046-845-1212

本展の見どころ

1. 眩惑的な〈光〉を用いて空間を変容させる倉重光則

倉重光則は、既成の美術の枠組みを打ち壊そうとする動きが先鋭した1960年代より本格的に活動を始めます。そのなかで、モノを見せると同時にモノを消すという〈光〉の採用に注目し、以来、蛍光管やネオン管の人工的な〈光〉を用いた眩惑的なインスタレーション作品を発表しています。

なかでも、本展に出品予定の鉄板をトンネル状に組み合わせた作品《ガス上の不確定性正方形》は、実際に観覧者が前途のモノを消す〈光〉の作用を体感できる作品です。

※作品タイトルは変更になる場合があります。

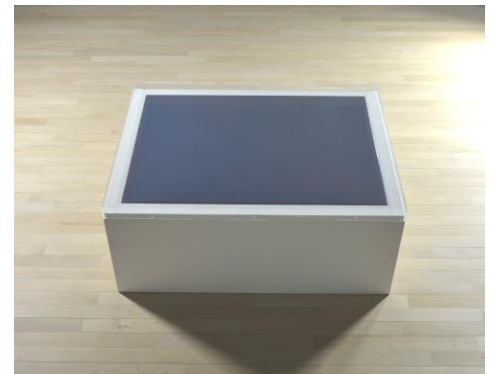


倉重光則 《ガス上の不確定性正方形》
2003年 神奈川県民ホールギャラリー

2. 版技法による〈色彩〉の物質性を探求する天野純治

天野純治はアクリルや顔料の層を重ねることによって色彩を物質化したような作品を制作しています。

本展では色鮮やかでつややかな「field of water」シリーズ8点のインスタレーションや、全く質感の異なる「the warm snow」「voice of wind」シリーズなど近新作を中心に一挙に展示し、触覚に訴えかけてくるような作品群を体験していただきます。



天野純治 《field of water # 015018》
2015年 作家蔵

3. 美術館「海の広場」に設置された倉重光則の野外作品にも注目

会期中、美術館「海の広場」には、倉重光則によるインスタレーション作品の設置を予定しています。

現在、倉重作品の特徴であるネオン管と人型モチーフ「EBE（イーバ）」を中心に構想されている作品は、昼と夜、波や風の音など、刻一刻と移り変わる美術館周囲の自然環境との相互作用によって、常に新鮮な体験を私たちに与えてくれます。

倉重光則 《EBE》 2019年 旧紙庫スペース
「回遊劇場／大分アートフェスティバル2019」



4. 倉重光則+天野純治展 展覧会情報をYouTubeにて配信予定

横須賀美術館公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UC_QU5GbS13PzNVyvdnoNSGQ/featured

掲載図版／プレゼント用招待券申込書

FAX : 046-845-1215 横須賀美術館 広報係行き

「倉重光則＋天野純治展 ミニマリズムのゆくえ」

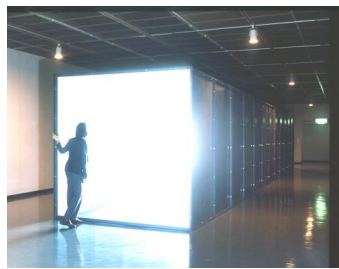
2020年(令和2年)11月14日(土)～12月25日(金)

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券(ペア10組分/20枚まで)をご希望の方は、下記へご記入の上FAXにてご請求ください。前頁「図版の使用について」をご一読の上、必要な図版に☑してください。

※倉重光則作品画像は、過去の展示風景のものです。展示作品は変更する可能性があります。



倉重光則《光と物の間》
2020年 Steps Gallery (東京)



倉重光則《ガス上の不確定性正方形》
2003年 神奈川県民ホールギャラリー



倉重光則《精神》
2014年 奈義町現代美術館(岡山)



天野純治《field of water # 013015》
2013年 個人蔵



天野純治《field of water # 015018》
2015年 作家蔵



天野純治《VOICE OF WIND 98-GG-1》
1998年 東京都現代美術館蔵

必ずご記入ください⇒ ○貴社名..... ○電話.....

○貴媒体名..... ○ご芳名(ご所属).....

○メールアドレス(画像データ送付先).....

○掲載・発行予定日 月 日 発行・公開 ○使用形態 印刷物 WEB 映像

○ご要望事項(サイズ・解像度など).....

○読者・視聴者プレゼント用招待券 希望する(枚) 希望しない

※最大10組20名様分(20枚)まで。本展を貴媒体でご紹介いただける場合に限ります。

○ご住所(チケット送付先).....

